

株式会社ビーエスFOX
第12回放送番組審議委員会議事録

1. 開催日 : 平成 29 年11月21日(火)13:00～15:00
2. 開催場所 : 東京都品川区北品川 5-5-15 大崎ブライトコア 16F
3. 委員の出席 : 委員総数 7 名 / 出席委員数 7 名

出席委員(敬称略): 菊地 実、曾根 和子、田保橋 淳、
鳥居 美砂、浅井 正義、阿部 清美、杉山知之

放送事業者側出席者氏名 :	ビーエスFOX 取締役	眞島 大介
	マーケティング部 部長	岸本 裕子
	編成部 部長	伊藤 由起
	編成部	鈴木 香都喜
	編成部	後藤 圭介
	事務局	岩崎 壮一
	事務局	橋本 佳奈(記)

4. 議題:

- (1) 株式会社ビーエスFOX事業概況説明
- (2) FOXスポーツ&エンターテイメントより『鈴鹿8耐 独占レポート特番!』についての番組審議
- (3) ナショナル ジオグラフィックより『LA92』についての番組審議

5. 審議内容:

(1)株式会社ビーエスFOX事業概況説明

上半期の視聴世帯数推移と主要な番組ラインナップを報告。ナショナル ジオグラフィックは Hulu の配信世帯数を含めると約 820 万世帯で推移している。ハリウッドの一流キャスト・スタッフによるドキュメンタリードラマの制作やライブ放送の取り組みを紹介。FOX スポーツ&エンターテイメントについては、プロ野球人気、また放福岡ソフトバンクホークスがペナント優勝、日本一になった影響もあり視聴世帯数、視聴率共に堅調に推移した。プロ野球のオフシーズンは、総合格闘技 UFC およびプロバスケットボールのBリーグ中継を軸に編成を行っていく。

また東経110度CS放送のナショナル ジオグラフィックについて、ハイビジョン化の認定申請を行ったことを報告。

(2)FOXスポーツ&エンターテイメントより『鈴鹿8耐 独占レポート特番！』についての番組審議
＜委員からの意見＞

- ・短い尺ながら内容が凝縮された、よくまとまった番組。
- ・インタビュー部分は興味深かったが、インサートのレース映像がもっと鈴鹿の魅力をダイナミックに伝えるものであればなお良かったと思う。
- ・モータースポーツになじみがないと理解できない専門用語は出てくるが、もともと興味のあるファンに向けての番組であるならば問題ない。海外からの参加選手が多いので、FOX スポーツという媒体で放送する意義もあったのではないかと思う。
- ・鈴鹿8耐について元から知っている人はいいが、今回興味を持って見た人にはとっつきにくい内容。初心者向けに鈴鹿のコースの難しさや耐久レースならではのポイントなどの解説があれば良かったのではないか。
- ・モータースポーツの裾野を広げる目的であればもっと解説が必要であったと思うが、もともと興味がある人向けの番組だったと思うのでそうであれば今回のまとめ方で良かったと思う。
- ・番組タイトルの「独占レポート」「特番」という言葉から受けるイメージと、実際の番組内容にギャップを感じた。尺が短い、レポートと謳っている割にインタビュー要素が強い等。ただ本番組が単独で編成されているわけではなく、本編と段積み編成されているのであれば問題ない。
- ・番組タイトルはよく議論し、大事に決めてほしい。作り手側の想いが見えすぎてしまうと視聴者が逆に引いてしまうこともある。
- ・取材や編集の苦勞の甲斐が見える番組。インタビュー番組の制作は難しい。インタビュー相手から引き出したいことを引き出すにはどうすればいいのか、もっと工夫できるとさらに良い。何を番組として伝えたいのかを作り手側でよく話しあい、工夫することで、オリジナル番組を制作する意義が出てくると思う。
- ・テンポが良く、構成もよくまとまっているが、テンポが良すぎる分、このレースの難しさが伝わりにくい。コースの全体像を見せてくれる等の工夫があると分かりやすくなると思う。
- ・耐久レースの面白さは普段異なる分野で活躍するプロフェッショナルが競うところ。尺の問題等もあると思うが、何かこの大会ならではの部分の1つにフォーカスしても良かったと思う。

＜事業者回答＞

オリジナル番組制作に関して、構成・見せ方等をもっと工夫して質を上げていきたい。
頂いたご意見を今後の番組制作・編成に活かしていく。

(3)ナショナル ジオグラフィックより『LA92』についての番組審議

＜委員からの意見＞

- ・2時間番組だが尺の長さを感じさせない、よくできたドキュメンタリー。

- ・当時のニュース番組も実際放送された部分だけでなくその前後も見せることでよりリアルになり、緊迫感を実感できて良い。英語でキャプションが入っている箇所については、もっと日本語の解説の字幕が入ると良いと思う。
- ・衝撃的な映像が含まれており、尺も長いので、視聴が精神的に辛かった部分もある。視聴制限はないとのことだが、子供が目にした時はどうなのだろうか。暴力的な映像に感化される人間もいるのではないだろうかという点が気になる。
- ・非常に貴重な映像、価値のある題材であり、その重みを認識して放送してほしい。ナショジオはこういうチャンネルである、この番組を今ナショジオが放送する意義をメディアの姿勢として示す機会になりえる番組。
- ・社会的に問題のある映像も含まれているが、放送基準に照らし合わせて問題がないかどうか、日本の視聴者に対しての注意喚起は十分か、よく考えてほしい。民族問題は日本では馴染みのないテーマなので、海外から素材を受けて単に放送するだけではもったいないし、リスクもある。専門家を呼んで、番組で取上げている問題、時代背景等について解説してもらふ番組を制作するなどの工夫も必要だと思う。
- ・当時を知らない人にも理解できるような補足説明があると良いと思う。アメリカ人には理解できることでも、日本人には状況が複雑で理解が難しい部分があるので、登場人物がどういう立場の人なのかをキャプション等で説明する工夫も欲しかった。
- ・衝撃的な映像を修正せず放送することについては、ナショジオとしてのポリシーがちゃんとあり、作り手全員がそのポリシーを共有し、説明できるようであれば良いと思う。
- ・本来はこういう番組を放送すべきか否かを放送前に審議すべきだと思う。
- ・作り手の解釈を入れず客観的に描いているという見方が多いが、かなり意図的につくられている、イデオロギーがこめられていると感じた。
- ・作り手の力量を感じた。意欲的で素晴らしい番組。
- ・見ごたえのある番組。オリジナル映像・音声に鬼気迫るものがあっただけに吹き替えだったのが残念。吹き替えでは群集の声などにも厚みが出ない。作品のパワーが吹き替えによって薄まってしまった。
- ・吹き替えによって得られる情報量が増え理解しやすかった。2 時間番組で字幕だと内容によっては視聴が辛いと思う。
- ・こういう時勢にナショジオがこの番組を逃げずに放送したことは非常に意義があると思う。この手の人種問題は他にも存在していると思うので、もっと取上げてほしいし、掘り下げて欲しい。

< 事業者回答 >

- ・視聴者への注意喚起については、再度検討し工夫していく。
- ・ありのままの真実を伝える、オリジナルの素材をいじらないという基本方針はあるが、日本の視聴者に対して丁寧に説明をするように更に努めていく。

・字幕、吹替、いずれが、各々の番組に適しているかという点は常に大きなテーマ。今回の『LA92』については字幕版も制作しており、今後編成予定である。

以上